

村岡地区座談会 議事要旨

○と き:平成 22 年 8 月 5 日(木)19:00～21:10

○と ころ:村岡公民館

○テ ー マ:第5次勝山市総合計画

○出 席 者:38 名

◎第 5 次勝山市総合計画について説明(未来創造課)

◎都市計画マスタープランについて説明(都市政策課)

Q1	<p>・中部小学校は、中部中学校に持っていくほうが良いと思う。小学校は中学校と違って、子どもが歩いて行ける場所が良い。西小学校を中心とした2キロの円では南小学校まで入ってしまう。その円の中にどれだけ子どものいる戸数が入っているか検討したのか。校舎の改修などを考えれば大変だと思うが、移転に伴う子どもへの過剰な負担などは考え過ぎないほうが良い。村岡としては、中部小学校は中部中学校にもって行ったほうが良い。</p>
Q2	<p>・小学校再編について、今の村岡や西校のように、少人数を先生が教えるというのに賛成であって、大きくすることには反対。</p>
Q3	<p>・村岡については、大きいから西校と統合しなくても良いと思う。野向を第1段階として統合すればよい。30人学級とか言われ始めているなか、いま最終的なことを考えなくても良い。</p>
A1～3	<p>・この素案を提示する際にもいろいろと検討を重ねてきた。議会からもご指摘、ご意見をいただいているが、どちらが良いかと言うと、非常に判断が難しい。しかし、総合的に考えた場合、元の素案を修正した今の形がいいのではないかという、現時点での一つの考え。市民の皆様方から様々なご意見をお聞きする中で、最終的にどうするかということを決めていく必要がある。</p> <p>基本的に小学校9校を3校にするとの案は、平成16年から18年にかけて、勝山市の小中学校の望ましいあり方検討委員会で、様々な形・サイドから協議研究した考えを基にした案。1クラス30人のクラスが2クラス以上ある1学年という考え方が、小学校の望ましいスタイル、規模との考え方。これを基本にして、今現在の、あるいは今後の10年先15年先の推移を見る限りにおいて、9校を3校にするという一つの考え方が出てくる。しかし、これも市民の皆さんがどんなお考えをお持ちかということ、いろんな形でお聞きする中で、結論を出していく必要がある。</p> <p>そして、再編するに当たっては、いろんな段階的、いろんなバリエーションでの再編もある。特に小学校については、地域に大事にさせていただいており、地域密着型の学校なので、地域の皆さんの総意に基づいて再編をするべきであろうと考えている。さらにもっといろいろな側面から研究を進めていきたい。</p>
Q4	<p>・新体育館の建設について、南部中学校の跡地は、どちらかという大野に近く、勝山の大多数の市民にとっては非常に場所も分かりにくい。当然、国体などの大会を行った時に、県外から来るかたにも分かりにくい。もっと勝山の町寄りの場所を探して、借地でもいいから、そこに建てるべき。極端な言い方をすれば、成器西小学校を解体して、半分を南小学校、半分を村岡小学校に持っていく、跡地に体育館を建てるという</p>

	<p>ことも考えられる。これくらいの考えでやらないと、高い金を使って建てたはいいけれども、あまり利用者がいない、利用率が悪い、何をしているんだということになりかねない。</p> <p>建物面積も広すぎる。かなりの建築金額になると思うが、おそらく20億程かかるのではないか。国体やインターハイなどの際はバドミントンコート全てを使えるが、ほとんどの日は使われない。冷暖房完備、エアカーテンなし、照明も全部点けるとなると、非常にもったいない。ランニングコストが2,000万～3,000万円以上かかると思われる。初めから設計を1対3とか1対2の割合で建物を離して建てて、後で小さい方を壊す。渡り廊下や、映像、大型スクリーン、電光掲示板などの設備を使って双方向で表示するといった形にしてはどうか。</p>
Q5	<p>・基本的には新体育館を建てるのには反対。それだけの建物だと年間維持費が1億近くになると思う。それだけの無駄遣いをするよりも、もっと他のところにお金を使うべき。建物ばかりにお金を使う、そういった行政のあり方には賛成できない。</p>
A4～5	<p>・まず、学校再編をどのように進めるかというのが、何年も前から市の課題として浮上しており、1つの考え方として、先ほどご説明した小中学校再編、中学校1校小学校3校という最終的な1つの再編案をお示した。それと併せて、体育施設の現状を見ると、競技スポーツや生涯スポーツ、高齢者の健康づくりなどが年々盛んになってきているなか、現在の体育施設は、機能的にもボリューム的にも足りないとの市民の声が高まってきた。これについて、市の各界を代表する方が委員となって委員会を立ち上げ、議論をいただき、その結論として、概ねこうした施設が必要だろうという意見であった。また、体育協会を中心とした署名活動などあり、約6,000人の署名があった。それらを踏まえ、幅広く皆さんが利用でき、また、全国レベルの大会が勝山で開催できるような体育施設が必要だということで、新しい体育館をこういった形で建ててはどうかという案をお示している。</p> <p>場所については、もっと市の中心部がいいだろうとか、あるいは、西校の児童を南と村岡に半分ずつにして、その跡地に体育館との相当斬新なアイデアをいただいた。そういったことも、今後検討材料とすべきかもしれないが、現時点での考え方は、中学校の再編と新しい体育館建設を合理的、効率的に進めるうえで、南部中学校という素案をお示している。</p> <p>稼働率の問題、ランニングコストの問題については、いろんな方からご意見を聞いている。体育館そのものが、いらぬのではないかと、無駄遣いだというご意見もある。しかし、せっかく市民の要望に応じて建てるのであれば、勝山が誇るバドミントンが国体に合わせて開催できるようにというのは、ひとつの考え方だと思う。大きさについてはもっと精査をする必要がある。大きな大会を勝山で開催して市民が元気になるような、また市民の皆さんもいろんな形で利活用できるような体育館を整備していくことを目指している。</p> <p>今年、他県の大学のたくさんの学生がこの勝山で夏季合宿をしている。そして、ホテル、民宿などに泊っていただいている。ところが、残念ながらその学生が練習したり競技したりする体育施設が足りない。そのため、大野のエキサイトや永平寺など、勝山の外へ出て練習をしている。とっても寂しい感じがする。勝山市民の皆さんが利用しようとしても、やはり不足しているという面も否めない。何とかして新しい体育館を建設した</p>

	<p>いというのが、現在の勝山市の考え方。しかし、これについても、市民の皆さんの意見を十分に踏まえて結論に導いていきたいと考えている。</p>
Q6	<p>・村岡は勝山の中でも No.2であり、村岡小学校は今すごく良い環境の場に建っていると思う。そういう場を統合する必要性は、まだないのではないか。学校再編について広報を見て思ったのだが、勝山は守りに入っているのだなと強く思った。確かに人口は減っていくが、その前に、こうしたら増えるのではないか、なぜ子どもが増えないのかということを考え、対策を取るべきではないか。それをせずに、小学校を3つにするという案を示すのは、守りに入って、伸びることを目的とせずに、ただ現状を維持するということなのか。これでは、今3つという案が、さらに後には最終的に2つになるかもしれない。市長が言っているとおり、勝山市は独自にどこも合併せずにかこうという決意を持っているのなら、将来をもっともっと夢あるものにしていただきたい。村岡小学校をなくすというよりも、まず子どもを増やさないとならないということをもっと考えていただきたい。当面そういうことをしていけば、そのうちまた状況も変わるのではないか。あまり悲観的な考えにならず、もっと胸を張って頑張っていたいただきたい。</p> <p>小学校スクールバスの距離について2kmの円よりもっと小さくなると言っていたが、浄土寺の本村の子はバスになって、出村の子は歩いて行くことになる。集団登校でみんな仲良く歩いている姿を見ると、集団登校もなくなしたくない。決まった時間にバスが来ると、子どもが遅れたときは、バスだけ先に行って、家族が子や孫を送っていく必要が出てくる。2kmと言わず、もう少し弾力性を持ってほしい。西校に小学校を持っていく案だと、子どもの送り迎えのために、あの近辺の道に保護者の車がずらっと並ぶことになる。そういったことを考えると、場所的にどうか。</p>
Q7	<p>・最初の案を変更して、成器西小学校には中学校を置ける規模がないということだが、過去、私が小学生の時、西校は勝山で一番大きく3クラス程あった。入る部屋は十分あるのではないか。グラウンドも十分広いのではないか。児童の負担をなるべく減らすということだが、今現在、村岡の方が児童数が多いのではないか。5年先10年先といったところで、まだ多い。児童の負担を軽減するということが謳われているのに、なぜ、児童数が多い村岡が西校に入ることになるのかよく分からない。</p>
A7	<p>・中学校の再編を考えた時に、成器西小学校を新中学校にすると、現在成器西小学校にいる児童には、中部中へ移動してもらうことになる。小学校は再編をしないという選択肢もある。小学校が再編しなくても、中学校再編のあおりで成器西小学校の児童が中部中へ移動しなくてはならない。そのことを指して、小学校の再編に関係なく児童への過剰な負担が生じるということ。位置関係から、小学校再編をどこにするのかということではなく、中学校再編のあおりで成器西小学校の子どもが、小学校の再編をしないにもかかわらず学校を動くというこの点だけを申し上げた。</p>
A6	<p>・ご指摘の通り、日本全国が人口減少している中で、1人でも2人でも人口を増やしていくという方向付けは絶対にしなくてはならないし、その努力を止めてはならないと考えている。勝山市ではこれまでに、保育料軽減率が県内トップ、がん検診無料化など、いろいろな施策を行っている。一方で、田舎暮らし体験や定住化促進で、移住を考えている方に市内をご案内するといったことを積極的に行っている。その中でも、人口がだんだんと減ってきているという状況。これは勝山だけが悪いということではなく、日本全国の地方では、みんな同じ状況。人口構造は、少子高齢化ということで、50歳</p>

	<p>以上の人口がかなり大きくて、40歳以下の人口が少ない。同期生が400人いる年代から、同期生が200人くらいしかいない年代に代替わりしていくことになる。出生と死亡の差である自然増減で、当分の間、単純計算で毎年200人ほどが減っていくという事は、転入と転出の差である社会動態で、仮定として企業誘致に成功して転入者が増えたり、出生率がアップしたりして、数十人から100人ほどのプラス要因を市民の皆さんと行政とが一体となって作っていったとしても、毎年100人以上の人口減になる。これが、勝山の、また日本全国の自治体の現実。</p> <p>守りではないかということだが、10年先の人口が減少していることを視野に入れたコミュニティのあり方などについて、総合計画の中でもきちんと考えていくことが、市としての責務だと思っている。</p> <p>ただし、最初に言ったように努力を止めてしまったり、忘れてしまったりしたら、それこそ市そのものが解体、消滅してしまう。そうならないように、今の子育て対策の充実や、定住化促進などを継続して実施し、将来ある程度年齢別人口が平板化していく時代になった際に、きちんと持続していけるまちを目指す、その仕組みを作るのが、今回の総合計画の中で重要なところと考えている。</p>
A6	<p>・村岡小学校は本当に素晴らしい学校なので、いまあわてて統廃合の対象にしてほしくないというご意見ですが、地元の方なら当然だと思うし、客観的に見てもとても頑張っている良い学校だとも思っている。もしも素案通りに統合を進めた場合のことだが、例えばバスの問題については、あまり杓子定規的にするべきものではないと思っている。それぞれの通学児童の、家と学校までの道の状況、環境にもよるし、やはり個々に考えていく必要がある。ただ、今は大雑把に2kmにするとこうなるということで、当然柔軟に考えていく必要がある。再編統合の絶対的に不可欠な要素は、きちんと通学の足を確保するという事。これだけは、まずもって皆様方に納得していただけるような、いろいろな運行の仕方をしていかなければならないと考えている。学校周辺が込み合うのではないかと懸念についても、十分これから検討していかなければならないと思っている。</p> <p>地域にとってシンボル、財産となっている小学校の再編については、これからもっともっと地域の皆さんのお声を聞いて、時間をかけて、どうするかということを検討させていただきたい。今、この案を引っ込めるわけではないが、かといってこの案で走るという考えもない。あくまでも叩き台なので、これから色々な場面で協議を重ねながら、どうするかを検討していきたい。</p>
Q8	<p>・アンケートの中で勝山が好きか嫌いかという問いの中で、嫌いな理由に「雪が多くて除雪などに困る」と答えた人が69.8%いる。滝波の区画整理したところの用水路、いわゆる流雪溝に使っている箇所について、毎年床下浸水になる。水がなかなか流れないので、非常に困っている。そういったところで、雪に強いまちづくりをお願いしたい。今年は、細い狭い道路も除雪していただいて、非常にありがたいと思っているが、流雪溝については、4丁目の2本大きな1m50cm程の水路周辺では、毎年床下浸水になっている。そういった所を詰まらないようにどうしたらよいかということを検討してほしい。流雪溝を整備して、雪に強いまちづくり、交通体系にしてほしい。</p> <p>勝山にとっては、雪が利便性を損ねるので、結婚して勝山に嫁に来たけど大雪でひどいというのではどうか。雪が降るのは仕方ないが、会社に行くこともできない、どこ</p>

	<p>に行くこともできないというのでは、やはり勝山は嫌いということになる。交通網の確保など、雪に強いまちづくりをしてほしい。雪が嫌いというのではなくて、雪にはスキーなど利用価値もあるので、勝山が嫌いという原因の雪に対応するような方法をお願いしたい。雪に強いまちづくりというものを、総合計画に入れてほしい。</p>
Q9	<p>・本町、後町ではまちなみの保全ということで、300万ほど役所から補助が出るということを知った。見てみると住宅兼店舗になっている。ということは、住宅の面積が大きくて、店の面積が少ないというのに、通りを良くしたいから300万というお金が出ている。例えば、勝山市で家を建てた場合に、今でも100万円が出ている。住宅を建てるということは、そこで永住をされるということなので、もっと上乗せをできないか。リフォームをすることで、たとえば1000万円程かけてリフォームされる方もいると思うが、そういう方にも、永住するというので、勝山市は良いところだなと思えるようにできないか。また、子どもを1人でも産んでいただく可能性もあるので、いまのようなことも検討できないか。</p>
Q10	<p>・最初に、人口が減っていくその推移を説明してから話をしたほうがいいのではないかと。現状だけを見て統合が反対だとか、こうしたらいいとかになってきている。今まで、市長と語る会などに参加しているなかで、人口減少がいろいろな所に繋がっていていると思うので、その説明があつてから今日の話をしていただいた方が、分かりやすかつたのではと思う。</p> <p>小学校統合、中学校統合、新体育館建設、これらは大切なことだと思っている。先ほどの説明の中で、人間がすむための環境づくりということをキーワードとして挙げていた。民生委員をしていて、勝山市も全国的にも少子高齢化になっていて、高齢者がお買い物に行くことが難しくなっていると感じる。大きなスーパーがあちこちにできていて、近隣の商店が少なくなっている。福祉や医療は行政の様々なバックアップがあり、勝山市にはいろいろな施設があつて、都会から見るとある意味では恵まれていると思う。しかし、一人暮らしや高齢者世帯を訪問していると、お買い物について、近くにあったお店がみんな無くなっていて、これが一番大変だと痛感している。一人暮らしや高齢者世帯のかたが85歳になっても車を運転している。運転には個人差もあると思うが、「大変だけど、自分が運転しないと食べていかれない」という声を聞いている。はっきり言って、人間が住むための環境、これには「食」はなくてはならない。大型店が人口の少ない勝山に本当にあちこちたくさんできて、近くにあったお店がだんだん潰れていくという、この現象をなんとか勝山市民で考えていただきたい。</p>
A8~10	<p>・建設部としても雪に強いまちづくりを目指している。まず、住んでいる皆さんの住みやすさを第1に考えて、現在もやっているし、これからも冬場の除雪対策などを十分考慮していきたい。特にご指摘のあった滝波4丁目の水路が詰まって水があふれる現場は、私も毎冬見ている。構造的な欠陥部分については、地元の区長とも十分協議をしながら、少しずつでも改善をしていきたい。</p> <p>本町通り、後町通りで実施している、まちなみ景観創出事業は、景観を重視したまちづくりということから補助事業を進めている。特に本町通りの下袋田区、上袋田区、上郡区、この3地区を景観形成地区という地区指定をして、現在の町屋づくりといった景観を守っていこうということから、この事業が始まっている。その他、市内全域についても、歴史的な伝統的民家については、ふくいの伝統的民家に認定をしていただいて、</p>

	<p>認定された民家については補助対象にしている。エコミュージアム構想に基づいて、古い町屋風、あるいは農家風の建物を残していこうという事業を進めている。</p> <p>特に高齢者の方々が多くなってきている。歩いて買い物に行けるというまちづくりも、都市政策部門で非常に重要なことだと思っている。今回の総合計画の中で、そういったことも謳っていききたい。</p>
<p>A10 (全体)</p>	<p>・10年後の中学校の生徒が何人であるかということは、すでに生まれているので分かっている。小学校の児童数も10年後については、そのうち4学年はもう出生しているので概ね推計できる。勝山の年間出生数については、もう200人を切ってずいぶん久しくなっている。そういう中で、他の地区でも言われるが、「他の市は全然小中学校の話をしていないのに、勝山市はどうしてこういった話を出してくるのか。」といったお話をよく伺っている。総合計画は今後10年間のまちづくりの計画なので、10年後のまちづくりをどうしていくのか皆さんで議論を深めましょうということで、あえて出している。</p> <p>勝山市は非常にコンパクトなまちで、市町村合併も選択しなかった。非常に良いまちづくりができていていると思っている。そのような中で、次の10年間も行政が勝手に進めるのではなく、素案を出して皆さんと膝を交えているんな、まちづくりについてしっかりと議論を深めるための指針を決めた。そして次の世代にしっかりとこれを引き継いでいくことが大切であると考えてお示している。学校問題もあるが、最後にあった福祉の問題、高齢化率、65歳以上の方が、4月1日現在で29%になっている。そして60歳以上になると、35%になっている。3人に1人が60歳以上。今後どんどん高齢化率が上がっていく。これは勝山市だけではなく、多くの地方都市がそういった状況。</p> <p>都市計画の中では、極力コンパクトなまちをつくらうということだが、都市計画区域の中で店舗を出そうとすると、どうしても商店は土地の安いところ、駐車場がとれるところということで、どんどん郊外型になっていて、なかなか市の思い通りにはなっていないところがある。1km、2kmが歩けずに買い物に苦勞されていることがあるので、総合計画と並行してつくっている地域福祉計画、これも来年3月に総合計画と同じに、市議会で議決をいただくという形で、正案を整えていく。あわせていろいろとご意見をいただく中で、いい形にしていきたい。例えば、一部ファミリーサービスのような形で人がサポートして、当市にもいろんなサポートもあるが、都会ではNPO法人などが車でスーパーなどに一緒にお買い物に行くシステムもあるので、そういったサポートもできるといいと考えている。</p> <p>この後も、小中学校単位の「考える会」、市長への手紙、その他、いろいろと直接市の方へご意見をいただく手段もある。勝山市の発展のために、小さいまちだが、キラリと光る誇り高い勝山にしていこうと考えている。</p>